
ヒマでヒマでしょうがない時

万年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒマでヒマでしょうがない時

【Nコード】

N8779A

【作者名】

万年

【あらすじ】

小説を読み疲れた方、ヒマな方、これサプリです。

ヒマな時。

さあ何をしよう。

する事がないのだからヒマと言うのだ。

そう、私は退屈なのだ。

そんな時は小説らしくない小説を書いてみよう。

タイムイズマネーというけれど今はタイムイズひまマネー。ヒマな時はお金より熱くなれる何か欲しいもの。そんな時は誰かが鼻で笑うような、何か書きたいと思った

そりや大笑いしてもらいたいけれど、それは地球を全力疾走するぐらいの勇気と愛がいるね。鼻だけでも笑ってくれたらそれで十分

みんな、頑張ろうぜいこれからヒマな話をヒマな君に送ろう。

「なあ、うさぎ君。昨日さ、君悩み事があると言っていたね」

「ああ、亀君。よく聞いてくれた。僕はねずっと一人で悩んでたんだ」

うつ向いて真剣な顔をしているうさぎに亀はそつと聞いた。

「何があつたんだい」

うさぎは必死な面持ちで息をつく間なくこう答えた

「昨日、コンビニに行ったんだ。そうしたら美味しそうなプリンがあったんだ、でもその隣には同じく美味しそうな牛乳プリンがあったんだ。僕はどっちも食べたいと思った。だからなかなか選べなかった。黄色いプリンは優しい雰囲気を持ち主だった。しかし牛乳プリンは白いんだ。純白だよ純白。僕は悩みに悩んだよ。」

「それで君はどちらを選んだんだい？」

「一人だけを選ぶことは僕にはできなかった。」

「人じゃなくてプリンだろ？それにそんな時は両方買えばいいじゃないか。」

「二股なんて僕には無理だよ」

「いや、だからプリンだろ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8779a/>

ヒマでヒマでしょうがない時

2011年10月3日12時57分発行